

中心市街地の街路樹 再生プログラム



2019年2月 岡山市

中心市街地の街路樹再生プログラム(H31年度～H35年度)

[目的]

中心市街地の街路樹は、これまで落葉等による沿道への影響を考慮しながら剪定をおこなってきましたが、年々剪定時期が早くなり、また枝の切りすぎがエスカレートしたため、結果として樹形の悪化につながっています。このため岡山市管理の景観重要道路において、平成35年度末を目標に街路樹の「質の向上・緑のボリュームアップ」を行うことで、まちなかの回遊性や魅力の向上を図り「歩いて楽しいまちづくり」を進める。

[対象路線]

- ・桃太郎大通り
- ・県道岡山児島線・国道250号
- ・城下筋
- ・市役所筋
- ・西口筋・昭和町通り
- ・西川緑道公園筋・枝川筋
- ・県庁通り



桃太郎大通り

主な樹種
ユリノキ
ムクノキ

岡山市の玄関口である岡山駅と岡山城・後樂園を結ぶ路線であり、
岡山市のイメージを印象付ける路線である



岡山市が緑あふれる歩いて楽しいまちだと感じられるように統一感、
全体のボリューム感、望ましい樹形の確保を図る

平成28年度

平成29年度

平成30～35年度

平成36年度～

樹木1本1本の大きさや形がバラバラであり、統一感を感じられない状況であった
緑のボリュームが少なく歩道に木陰が少ない

一部区間において十分な大きさ・樹形とも確保できたことから残りの区間についても引き続き同様な取り組みをおこなう

望ましい樹形・
ボリュームの維持

その状況を保つよう管理していく



樹形を整えながら歩道に木陰ができるよう
それぞれの木を大きくしていく



H30時点で、まだ十分な大きさが確保できていない樹形



桃太郎大通りの中でH30時点で望ましい大きさ・樹形



樹形を保ちながら大きさを確保し木陰を増やす

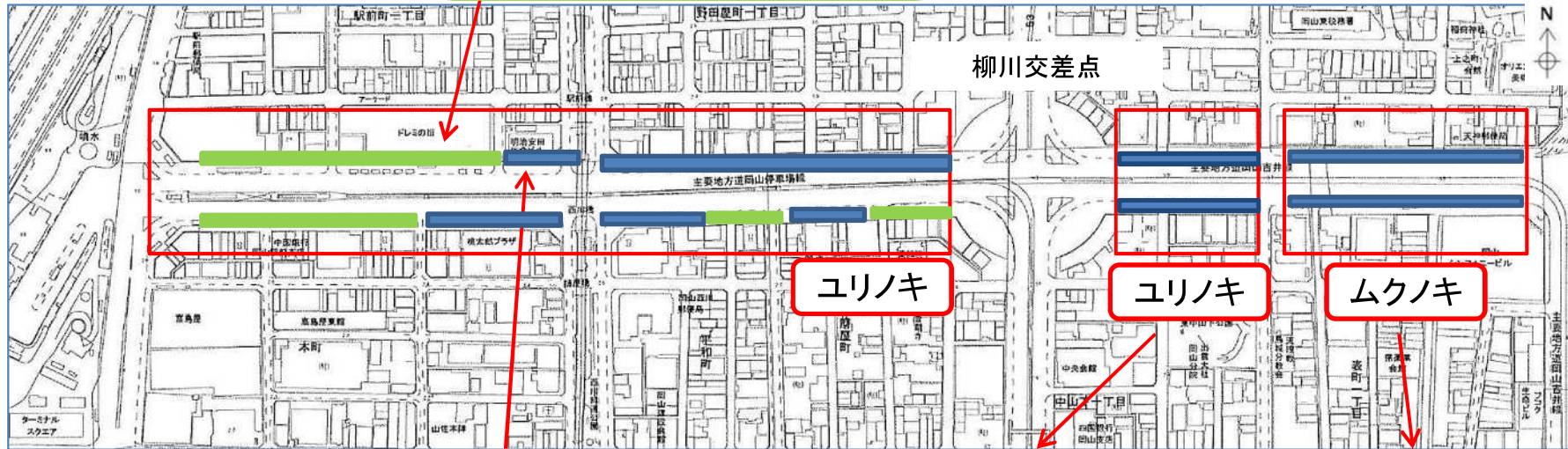
桃太郎大通り



望ましい樹形とボリュームの確保

樹形と緑のボリュームが確保できている部分

樹形と緑のボリュームが確保できていない部分



ボリュームが確保できていないユリノキも多いため、統一感を図りつつ、木陰ができるように大きくしていく



柳川交差点より西側のユリノキに比べ、小さいため樹木を大きくしながら統一感を図っていく



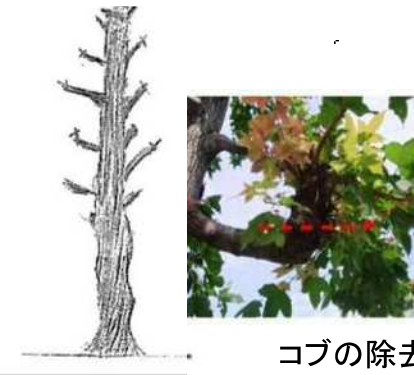
ユリノキの並木と調和できるように樹形を整えながらボリュームの確保を図る



県道岡山児島線・
国道250号

主な樹種
フウ

平成29年度



岡山市の中心市街地の東西方向の外郭を構成する路線である

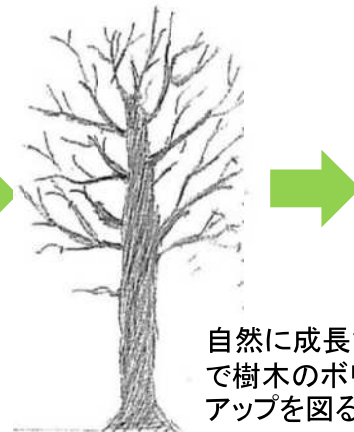
大供交差点より東

剪定方法を見直すことで街路樹を再生し、
ボリュームと樹形を確保する

大供交差点より西

既存の樹木を、成長させながら、樹形を確保する

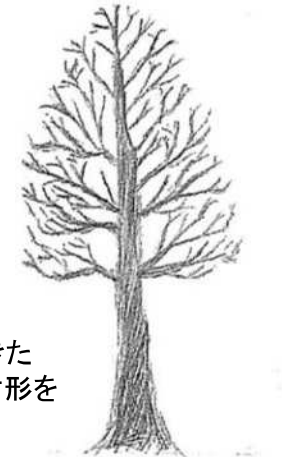
平成30年度



平成31～35年度



平成36年度～



強剪定や同じ箇所での剪定の繰り返しなどで剪定によるコブができることにより、緑のボリュームもなく樹形も悪化していた



剪定方法の見直し

街路樹の再生のために支障となるコブの除去をおこない、本来の樹形に戻す

望ましい樹形の設定

統一感を感じられる並木に

コブの除去の後、それぞれの木を大きくしながら統一感のある望ましい樹形を確保することで景観の向上を図る



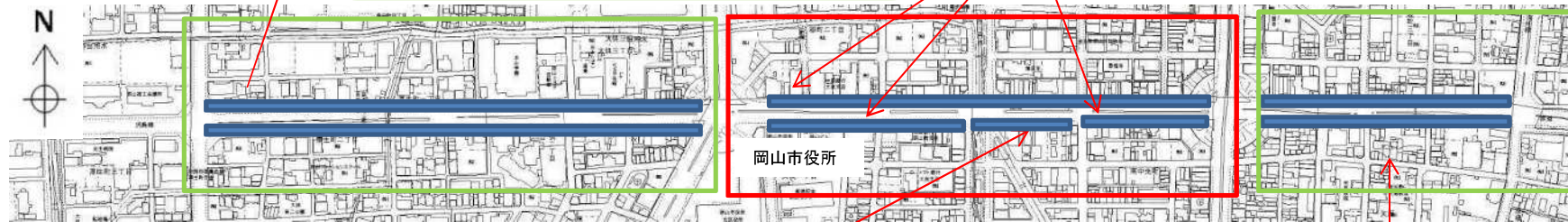
県道岡山児島線・
国道250号



樹木自体がほとんどないが、植栽されている樹木は小さいため、今の樹形を保ちながら成長させていく



強剪定によってボリュームもなく、樹形も悪化している



この区間については植樹柵等があるにも関わらず樹木が植えられていないことから、補植を行っていく



現在、植樹柵もなく緑を感じられないため、今後の周辺の土地利用の変化を踏まえた道路の在り方を検討する中で樹種の選定・配置も合わせて検討

城下筋

主な樹種
フウ

文化施設ゾーンと新市民会館周辺を結ぶ、多くの利用が見込まれる路線



城下交差点より南 剪定方法を見直すことでボリュームアップを図る
城下交差点より北 いまままでの剪定方法で、樹形・ボリュームを維持する

平成30年度

- 城下交差点から南は路面電車の影響により歩道幅が狭く、植樹桝が小さいことから、樹木を大きく成長させることができない
- 緑のボリュームが少ない

樹形の決定

- 緑のボリュームが少ないため道路沿って楕円形の樹形をつくることで緑のボリュームアップを図る



植樹桝が小さく、これ以上大きくするのは難しい

平成31年度～平成35年度

望ましい樹形に向けての剪定

平成36年度～

望ましい樹形・
ボリュームの維持

その状況を保つよう管理していく



通常の形



楕円形に

歩道



車道

城下筋



城下交差点より南

緑のボリュームが不足しているため、樹形を道路に沿って楕円形にすることで緑のボリュームを確保する



城下交差点より北

現在の樹形・緑のボリュームとも十分にあり、周辺の美術館などの文化施設にふさわしい景観となっているため、今の状態を保つよう管理していく

市役所筋

プラタナス
クスノキ
フウ

桃太郎大通りに次ぐシンボリックな道路であり、
岡山駅から市役所本庁舎を結ぶ路線である

➡ 剪定方法の見直しとともに、老木化の対策について
樹種の見直しも含めて検討

	平成30年度	平成31年度	平成32年度～平成35年度	平成36年度～
プラタナス	巨木化や老木化により、 樹勢が悪化している	樹木診断や有識者や専門家の 意見も考慮し、歩道部の植え替え について検討し、次年度以降の 施工計画を作成する	施工計画に沿って実施	望ましい樹形・ ボリュームの維持
クスノキ	樹勢も良好であり、 老木化が見られない	樹勢が良好な樹木は、樹形を確保し緑のボリュームアップを図る		



葉の色の悪いプラタナス



クスノキ(案)

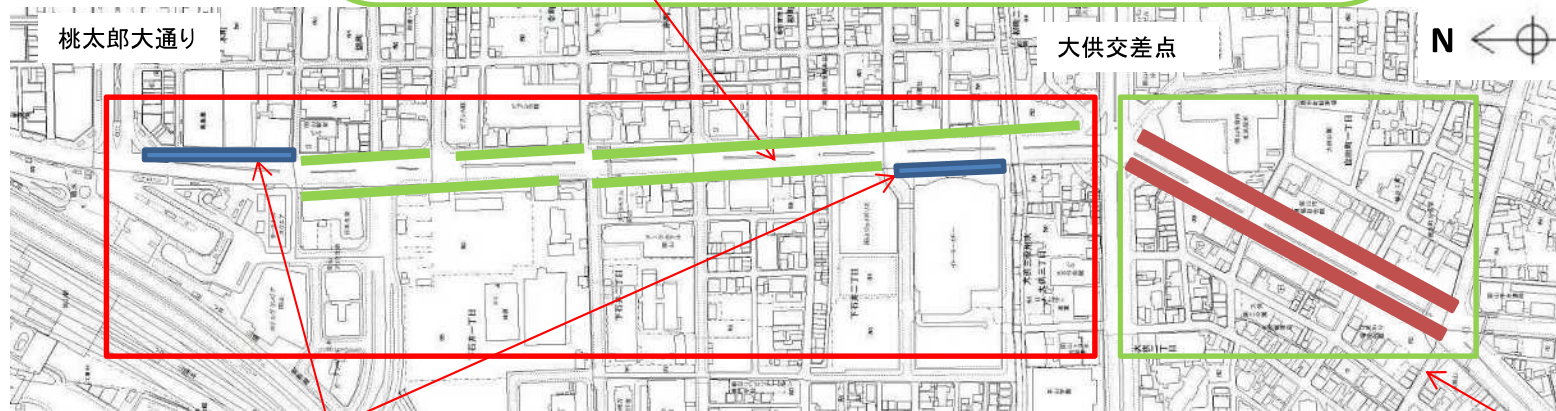
市役所筋



歩道部

- ・樹勢の悪化が見られていることから樹木診断をおこなう

■ プラタナスが多くみられる区間
■ クスノキが多くみられる区間
■ フウが多くみられる区間



この区間はクスノキが多い区間



中央分離帯
・混植(高木・中木・低木さまざま)



この区域に関しては樹木が小さいため、樹木を成長させ緑のボリュームアップを図る

西口筋 昭和町通り

主な樹種
ハナミズキ
クスノキ

店舗等が多く、文教・運動公園エリアへ向かう活気ある路線



クスノキが多い区間
ハナミズキが多い区間

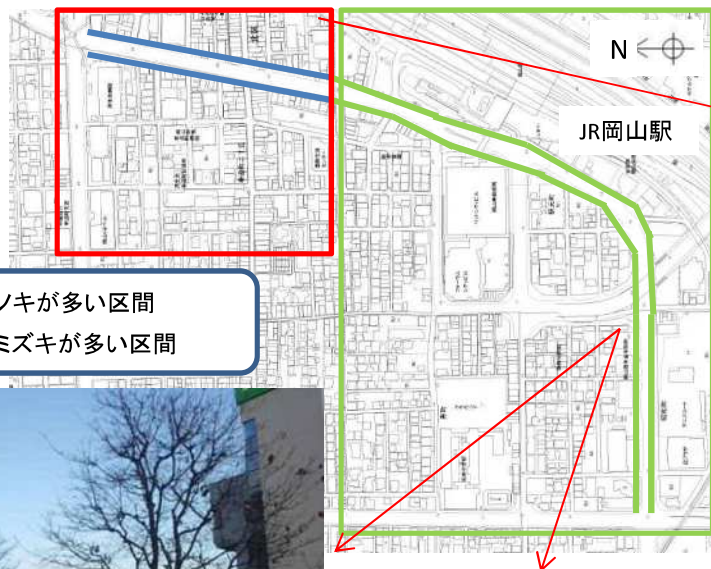
剪定方法を工夫することで緑のボリュームアップを図る
成長させながら、樹形を確保する

平成31年度～平成35年度

- ハナミズキが多く植栽されている区間に関しては、樹木自体が小さいため、樹木を成長させ緑のボリュームアップを図る
- クスノキが多く植栽されている区間に関しては、緑のボリュームが少ないため、自転車の方も木陰を通行できるように樹形を整えながら緑のボリュームアップを図る

平成36年度～

望ましい樹形・ボリュームの維持
その状況を保つよう管理していく



— クスノキが多い区間
— ハナミズキが多い区間



自転車専用レーンの上まで、樹木で覆えるように樹形を整えながら緑のボリュームアップを図る。



まだ樹木が小さいため、
樹木を成長させ緑のボリュームアップをはかる。

西川緑道公園筋・
枝川筋

主な樹種
フウ

イベント等に多く使われる西川緑道公園および枝川緑道公園と一体とした路線



西川・枝川緑道公園内との調和を図る

平成31年度～平成35年度

西川緑道公園・枝川緑道公園と調和を取りながら、今までとおり樹形を保ちながら緑のボリュームを維持する



西川緑道公園内



西川緑道公園と西川緑道公園筋

県庁通り

岡山駅前、西川緑道公園そして、表町商店街のにぎわいの拠点を結ぶ路線



一車線化の事業区間
ハナミズキの区間
プラタナスの区間

樹種を決定し、植え替えをおこなう
成長させながら、樹形を確保する
老木化の対策について植え替えも検討

平成31年度～平成35年度

- 一車線化の事業区間に関しては、平成31年度に樹種を決定し、工事に合わせて植え替えを行う
- ハナミズキが多い区間に関しては、既存樹木を成長させながら樹形・ボリュームアップを図る
- プラタナスが多い区間に関しては、老木化・巨木化が見られることから樹木診断を行い植え替え等を検討する



樹種を決定し、植え替えをおこなう



既存の樹木を成長させ
ボリュームアップを図る区間



植え替えを検討する区間